

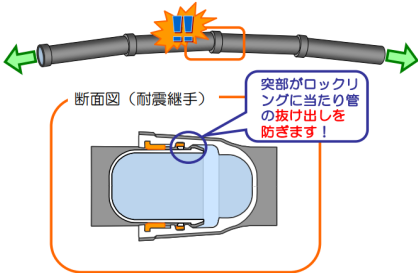
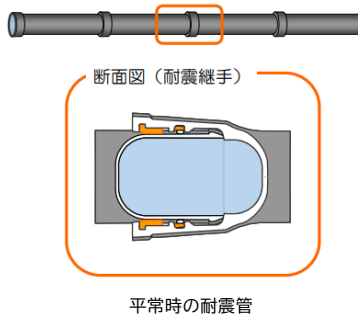
上水道管路の耐震化対策【国土交通省】

施策概要 地震災害等で破損した場合に断水影響が大きい上水道の基幹管路について、耐震化の対策を強力に推進

効果 国民生活や産業活動に欠かせないライフラインである水道の耐災害性を強化し、災害等による大規模かつ長期的な断水のリスクを軽減

全国的な対策と効果

全国の基幹管路の耐震管への取り換えを実施



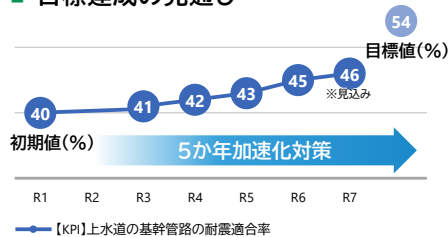
地震により力が加わった際の耐震管
地震の際にも水道管が抜けることを防ぎ、断水を防止する

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
390億円	177億円	177億円
R6	R7	累計
177億円	208億円	1,129億円

※ 予算額(国費)(加速化・深化分)は、対策番号70-(1)と70-(2)の合計額を記載
※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



効果発揮事例

水道管路の耐震化により、断水を回避し災害時の上水道の安定供給に貢献する



八戸圏域水道企業団



青森県八戸市



水道管路緊急改善事業

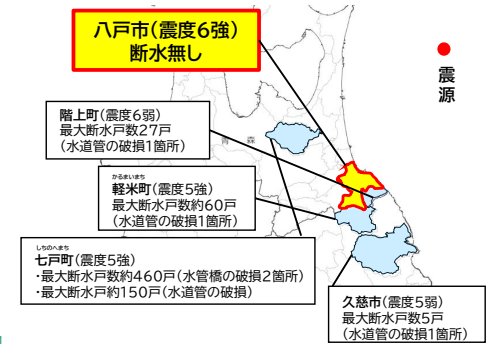
管路の耐震化



更新延長(m)

R2	R3	R4	R5	R6
14,079	11,434	12,644	14,396	8,845

青森県東方沖地震における効果



事業費

59.1億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)46.4億円)

事業の背景(地域の課題)

昭和43年の十勝沖地震において、八戸市内全域で断水が発生し、大きな被害を経験しました。この災害教訓を踏まえ、八戸市(昭和61年以降は八戸圏域水道企業団)はメーカーと共同開発を行い、耐震管(S形ダクタイル鋳鉄管)を開発し、全国で初めて耐震継手を有したダクタイル鋳鉄管を導入しました。

事業の内容

事故や災害発生時においても施設被害を最小限に抑えるよう、ダクタイル鋳鉄管(耐震継手)にて着実な管路更新を実施し、積極的に水道施設の耐震化を推進しました。

	八戸圏域水道企業団 耐震管率	(参考) 全国平均値 耐震管率
導水管	76%	24%
送水管	85%	32%
重要施設に接続する管路	62%	32%

(令和6年度末時点)

効果

令和7年12月8日青森県東方沖地震において、八戸市で震度6強を観測しました。青森県内では最大断水戸数が約640戸となりましたが、八戸市内では耐震化を実施した管路においては被害が生じず、大規模かつ長期的な断水を回避できました。